

(8) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（平成20年4月1日現在）

区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	250,687円	320,131円	375,664円
	高校卒	229,085円	254,936円	302,892円
技能労務職	高校卒	216,500円	257,266円	292,278円
	中学卒	—	—	—
高等学校、特別支援 学校教育職	大学卒	307,607円	362,135円	399,583円
	高校卒	—	—	—
小・中学校教育職	大学卒	306,794円	361,963円	395,502円
	高校卒	—	—	—
警 察 職	大学卒	281,235円	334,800円	379,341円
	高校卒	256,330円	309,850円	346,575円

(9) 級別職員数等の状況（平成20年4月1日現在）

① 一般行政職

一般行政職の総職員数は5,478人であり、級別の職員数は次のとおりです。

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
9級	1 複雑かつ困難な業務を行う本庁の部長の職務 2 極めて複雑かつ特に困難な業務をつかさどる現地機関の長の職務	13人	0.2%
8級	1 本庁の部長の職務 2 極めて複雑かつ困難な業務をつかさどる現地機関の長の職務	53人	1.0%
7級	1 複雑かつ困難な業務を行う本庁の課長の職務 2 複雑かつ困難な業務をつかさどる現地機関の長の職務 3 極めて複雑かつ困難な業務をつかさどる現地機関の課長の職務 4 複雑かつ困難な業務を行う企画幹の職務	191人	3.5%
6級	1 本庁の課長の職務 2 現地機関の長の職務 3 複雑かつ困難な業務をつかさどる現地機関の課長の職務 4 企画幹の職務	460人	8.4%
5級	1 課長補佐の職務 2 現地機関の課長の職務	742人	13.5%
4級	1 係長の職務 2 特に規模の小さい現地機関の課長の職務 3 規模の小さい現地機関の課長補佐の職務 4 担当係長の職務 5 主幹の職務 6 主査の職務	2,323人	42.4%
3級	主任の職務	710人	13.0%
2級	高度の知識又は経験を必要とする業務を行う主事又は技師の職務	700人	12.8%
1級	主事又は技師の職務	286人	5.2%

② 高等学校、特別支援学校教育職

高等学校、特別支援学校教育職の総職員数は 3,878 人であり、級別の職員数は次のとおりです。

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
4級	高等学校又は特別支援学校の校長の職務	99人	2.6%
3級	高等学校又は特別支援学校の教頭の職務	133人	3.4%
2級	高等学校又は特別支援学校の教諭、養護教諭又は栄養教諭の職務	3,552人	91.6%
1級	高等学校又は特別支援学校の講師、助教諭、養護助教諭、実習助手又は寄宿舎指導員の職務	94人	2.4%

③ 小・中学校教育職

小・中学校教育職の総職員数は 11,464 人であり、級別の職員数は次のとおりです。

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
4級	小学校又は中学校の校長の職務	601人	5.2%
3級	1 幼稚園の園長の職務 2 小学校又は中学校の教頭の職務	605人	5.3%
2級	幼稚園、小学校又は中学校の教諭、養護教諭又は栄養教諭の職務	9,863人	86.0%
1級	幼稚園、小学校又は中学校の講師、助教諭又は養護助教諭の職務	395人	3.4%

④ 警察職

警察職の総職員数は 3,383 人であり、級別の職員数は次のとおりです。

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
9級	1 警察本部の部長の職務 2 極めて複雑かつ特に困難な業務をつかさどる警察署の長の職務	18人	0.5%
8級	1 複雑かつ特に困難な業務を行う警察本部の課長の職務 2 極めて複雑かつ困難な業務をつかさどる警察署の長の職務	33人	1.0%
7級	1 複雑かつ困難な業務を行う警察本部の課長の職務 2 複雑かつ困難な業務をつかさどる警察署の長の職務	50人	1.5%
6級	1 警察本部の課長の職務 2 警察署の長の職務 3 複雑かつ困難な業務を行う警察本部の次長の職務 4 複雑かつ困難な業務を行う警察署の次長の職務	79人	2.3%
5級	1 警察本部の次長の職務 2 警察署の次長の職務 3 複雑かつ困難な業務を行う警察本部の課長補佐の職務 4 極めて複雑かつ困難な業務を行う係長の職務 5 極めて複雑かつ困難な業務をつかさどる警察署の課長の職務	438人	12.9%
4級	1 警察本部の課長補佐の職務 2 複雑かつ困難な業務を行う係長の職務 3 複雑かつ困難な業務をつかさどる警察署の課長の職務 4 複雑かつ特に困難な業務を行う主任の職務	1,062人	31.4%
3級	1 係長の職務 2 警察署の課長の職務 3 複雑かつ困難な業務を行う主任の職務 4 複雑かつ困難な業務を行う巡査長の職務	495人	14.6%
2級	1 主任の職務 2 巡査長の職務 3 比較的高度の知識又は経験を必要とする業務を行う巡査の職務	750人	22.2%
1級	巡査の行う職務	458人	13.5%

(注) 長野県の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。

【参考】昇給への勤務成績の反映状況（一般行政職）

- 1 地方公務員法第40条に基づき、平成21年1月より職務遂行力評価、平成21年4月より業績評価を導入し、全職員を対象として勤務成績の評定を実施しています。
- 2 昇給日前1年間の勤務成績（職務遂行力評価及び業績評価の結果等）が良好である者の昇給区分を標準とし、勤務成績が良好で、かつ、当該期間中に昇任、昇格した者を上位区分、勤務成績が良好でない者を下位区分とします。